

## 第4分科会(被害シナリオ部会) 第1次活動報告

### 1. 第4分科会の活動テーマ

21世紀前半に発生が確実視されている東海・東南海・南海地震では、人口や資産などが集積する近代都市を含む広範囲な沿岸域を揺れと津波が襲い、従来とは異なった複合的な災害の形態が予想される。また、南海トラフ全域にわたって地震が発生した場合、関東から西日本全域にわたって広域的に被害が生じることが予想される。

以上より、当分科会では、他の分科会と連携して次の検討を行う。

- ・被害のシナリオに関するアプローチ

津波予測の結果などを参考にして、被害のシナリオを作成する。

- ・複合災害に関するアプローチ

湾域都市で予想される複合災害の形態を議論し、従来の災害との差異を明らかにする。

- ・広域災害に関するアプローチ

広域的な災害時に予想される問題点を議論し、今後の課題を明らかにする。

### 2. これまでの活動状況

研究会の実施状況は以下のとおりです。

回	開催日	会場	議事
第1回	1999. 8. 2	東興ホテル (大阪市北区)	会員紹介 活動方針, 計画について 他研究の内容紹介
第2回	1999.10. 2	高知県庁 (高知市丸の内)	会員アンケート結果 事例研究(高知県の場合)
第3回	1999.12. 6	OMM会議室 (大阪市中央区)	被害シナリオについて 津波連鎖について
第4回	2000. 4.26	OMM会議室 (大阪市中央区)	会員紹介 津波連鎖について 災害データベースについて
第5回	2000. 9.20	OMM会議室 (大阪市中央区)	災害データベースについて 津波連鎖について(高知県須崎町)
第6回	2000.11.14	大阪キャッスルホテル (大阪市中央区)	災害データベースについて 津波連鎖について(被害シナリオの作成について)

回	開催日	会場	議事
第7回	2001. 6. 7	大阪キャッスルホテル (大阪市中央区)	津波データベースについて HOW TO 被害シナリオについて 事例紹介(高知県津波対策マスタープランづくり)
第8回	2001. 8.10 ~ 2001. 8.11	現地調査 高知県西部 (土佐清水市など)	被災記念碑の調査 土佐清水市の津波対策の取り組み 津波経験者の体験談
第9回	2002. 2.18	OMM会議室 (大阪市中央区)	現地調査概要報告 既往研究総括 話題提供(高知県での南海地震対策,地震保険について)
第10回	2002.12.20	高知城ホール (高知市丸の内)	既往研究総括 今後の分科会活動について

### 3. 活動内容の概要

#### (1) 第1回の概要

##### 1) 会員紹介

分科会会員により、自己紹介を行うとともに、今後の分科会活動内容の思いを説明した。

##### 2) 活動方針, 活動計画について

総会での活動計画案に対して、討議した。

- ・分科会の役員選出
- ・活動方針案の討議

会員にアンケートを実施し、活動内容をより具体的にすることで一致した。

##### 3) 他研究の内容紹介

建設コンサルタント協会：広域・複合水災害研究委員会により検討された既往研究内容を把握した。

#### (2) 第2回の概要

##### 1) 会員アンケート結果(活動方針の内容確認)

分科会会員の活動内容アンケート結果を説明した。

##### 2) 事例研究(高知県の場合)

高知県における地震対策状況について説明を受けた。

#### (3) 第3回の概要

##### 1) 被害シナリオについて

分科会会員の活動内容アンケート結果を説明し、被害シナリオに関する共通認識を確認した。

- ・被害発生メカニズムの分析
- ・住民説明や防災計画への反映
- ・過去の被害状況（体験談）からの調査

## 2) 津波連鎖表の作成

被害シナリオを検討するために、津波連鎖表を作成する。

- ・複雑な被害の連鎖を明確にする。
- ・被害発生の具体的想定を考慮する。
- ・災害データベースを作成する（被害状況を把握するために）

## (4) 第4回の概要

### 1) 津波連鎖について

津波連鎖表の内容を確認し、研究会での代表箇所を選定した。

- ・昭和南海地震を対象に高知県で作成する。
- ・当時の状況と現在の状況の2種類について検討する。

### 2) 災害データベースについて

災害データベースに記述内容を確認し、データ収集を分担した。

- ・基礎事項の収集
- ・資料リストの収集整理

## (5) 第5回の概要

### 1) 津波連鎖について

昭和南海地震を対象に、高知県須崎町について津波連鎖表を作成し、その問題点を検討した。

- ・津波連鎖を線で繋ぐには問題が多い。被害連鎖を表現しきれない。
- ・情報伝達や時間経過などを考慮することが難しい。

### 2) 災害データベースについて

収集データを整理し、データベースの具体的内容を検討した。

- ・データベースの構成内容
- ・「過去の知恵」をデータベースに入れる。

## (6) 第6回の概要

### 1) 津波連鎖について

第5回での津波連鎖表の課題を踏まえ、見直しを行った。

- ・被害シナリオを自体が重要ではなく、作成することが重要。  
「HOW TO 被害シナリオ」を模索する。
- ・「脅しの防災」から「連携（行政，地域，住民）の防災」
- ・連鎖関係は、カードイメージ（質問と回答の繰り返し）がベター

### 2) 災害データベースについて

他のデータベースにはない「過去の知恵」（体験談，記念碑など）を中心に整理する。

(7) 第7回の概要

1) 津波データベースについて

現地調査内容・行程を説明した。

2) 「HOW TO 被害シナリオ」について

高知市泉野小学校において実施するために、内容の説明を行った。

- ・防災教育として授業の一環として実施。
- ・着目点を明確にする。
- ・教材としての役割と時間配分が重要

(8) 第8回の概要

1) 被災記念碑の調査

高知県細部での津波記念碑について調査した。

- ・5箇所，碑文の確認

2) 土佐清水市の津波対策について意見交換

土佐清水市の取り組みについて説明をうけた。

- ・防災マップの作成
- ・学習会（住民との）など啓発活動

3) 下ノ加江地区（土佐清水市）の体験者との意見聴取

昭和南海地震津波の体験談をビデオ撮影

- ・津波の避難状況
- ・被災状況

(9) 第9回の概要

1) 現地調査概要報告

会員に調査結果を報告した。

2) 既往研究総括

津波データベース

現地調査を踏まえ、データベースを作成する。

- ・インターネットの活用
- ・追加可能（登録可能）を重視

「HOW TO 被害シナリオ」

高知市泉野小学校での結果を説明した。

- ・時間が不足する。
- ・チェックシートを作成すると、答えが一律になる。
- ・学習型アンケート形式が重要（学べるチェックシート）
- ・防災教育へのツールの確立

3) 話題提供

高知県での取り組み

現在の取り組み内容の説明を受けた。

- ・津波防災サイン基本計画

・第2次高知県津波防災アセスメント調査事業  
地震保険について

「地震保険基準料率のあらまし(損害保険料率算定会)」により、現行の地震保険の内容について、説明をうけた。

(10)第10回の概要

1)既往研究総括について

これまで、4ヵ年での研究成果をとりまとめ、総括資料にむけての方針を討議した。

2)今後の分科会活動について

今後の分科会活動について、討議した。

4.第4分科会の会員(22名:平成15年3月31日現在)

部会役員	氏名	所属	役職
	鷲見 勉司	国土交通省中部地方整備局企画部	防災対策官
	宿南 夏樹	大阪府総務部防災室 危機管理課 防災企画グループ	主事
会長	酒井 浩一	高知県総務部消防防災課	主任
	宮崎 真二	香川県総務部危機管理課	副主幹
	小澤 謙一	静岡県総務部防災局 防災情報室	副主任
	椿野 泰三	兵庫県管理部防災局防災企画課 計画係	
	中谷 充宏	大阪府市民局市民生活部安全対策課	課長代理
	中井 正人	大阪府市民局市民生活部安全対策課	主査
	高橋 利昌	神戸市危機管理室	主幹
	大山 慎一	神戸市危機管理室	
幹事	杉山 裕	(株)建設技術研究所 四国支社	支社長
	小滝 訓一	(株)建設技術研究所 大阪支社	
	戸川 光司	(株)建設技術研究所 大阪支社	課長
	富士川洋一	(株)建設技術研究所 九州支社(株)	部長
幹事	池内 覚	日本建設コンサルタント(株)大阪支社	
	吉田 和郎	(株)ニュージェック 河川・海岸部	課長代理
	大金 義明	東京海上リスクコンサルティング(株)第1事業部	課長代理
	辻 利夫	(財)西宮市職員自治振興会	事務局長
	佐竹 康孝	システム環境計画コンサルタント(株)東京支社	支社長
	真継 勝彦	日本技術開発(株)大阪支社	課長
	上野 弘道	鹿島建設(株)技術研究所	上席研究員
	河田 恵昭	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター	センター長